

# 企業一生存への選択

■開催日：2010年5月18日（火）13:15～16:30

■会場：大手町サンスカイルームD室（朝日生命大手町ビル27階）

■新産業秩序に向かう地殻変動が進行し、グローバルな競争が激化する中、日本企業は求められる変革と現実の人材戦力とのギャップに前へと向かう力を奪われています。このギャップは、戦後の学校教育、企業がつくりあげてきた慣行・制度とそこで体質化された根強い行動様式、深い思考を欠いた成果主義による混乱等の歴史の軋みにも起因します。

■今回の現研セミナーは、「企業一生存への選択」として、企業の教育の本質的転換を提言いたします。

## <第1部>

13:15～14:30

### 戦略の条件

#### I. 新産業秩序への地殻変動

##### —日本企業は今まで超えられない

- 世界的変革への圧力—自分の過去との戦い
- 会社の金属疲労—歴史の軋み
- 高度化し、複雑化する戦略を社員はこなせるか
- スピードについていけない日本企業
- 人材ギャップを放置すると戦略は破綻する
- 企業活性化のための多様な選択

#### II. 人材政策への有力70社の見方

現研「人材政策の新展開」(2010年4月実施)アンケート  
回答結果報告

リーマンショック後、わが社のリーダーに求める資質・能力はどう変わったか／過去5年、人材政策は正しかったか／企業風土一自信のもてるところ、もてないとところ／新10年－日本企業の国際競争力と雇用はどう変わるか／労働者派遣法改正で何が変わるのか／わが社の人材－量的に足りない人材、能力の高度化が必要な人材／グローバル化推進のために実施する教育

<コーヒーブレイク>

## <第2部>

14:30～16:30

### 教育の転換

#### I. グローバルビジネスで拡がる

##### 人材ギャップを克服せよ

- 問題の直視1－日本のモノづくりはかくして敗れる
- 問題の直視2－片端から引き抜かれる海外現場の人材
- 人材開発－「二兎」どころか「多兎」を追える人材でなければグローバルビジネスを戦えない
- 複雑さの中の本質を見抜くリーダーをどう育てるか

#### II. 今、教育で運命を変える

##### 歴史への挑戦、過去への挑戦

- 組織の壁、幹部の壁、体質の壁、人材の壁
- ビジネスマodelを支える構想力を強化する
- 方法開発に社員を挑戦させる
- 戦略教育で幹部・リーダーのニーズを満たす

#### III. コンサルティングアワー

講師への質問と相談に対する回答と助言、ならびに参加者相互のディスカッションと情報交換を致します。  
お名刺の交換も致しますので、ご用意ください。

## ■講師紹介



大島 和義

株現代経営技術研究所  
上級主任研究員  
上場企業、中堅企業の長期戦略、経営政策の立案、新事業開発、組織・人事制度の開発、並びに市場調査、商品開発、業務改善等のプロジェクトの指導、

経営幹部及び社員の教育研修の実践歴多数。主業務の他に、東京電機大学講師(経営学講座)を務めた。旧労働省の入材開発プロジェクトに委員として参加。



大槻 裕志

株現代経営技術研究所  
上級主任研究員  
企業・団体の中長期経営構想の策定、事業開発等プロジェクトを指導。幹部層、リーダー層、グローバル・スタッフへの研修指導、人事制度設計等に豊富な実績。前現研ヨーロッパ事務所長。著書「行動綱領で創りだす新しい企業価値」(プレジデント社)、専門誌等執筆多数。



藤井 隼夫

株現代経営技術研究所  
シニアコンサルタント  
一貫して有力企業の人事、生産、経営等の企画立案に携わる。中長期経営戦略、事業計画、人材開発を中心にコンサルティングを実施。世界20カ国を回り、グローバル本社機構、現地経営の改革・改善に取組んだ経験に基づくアドバイスに定評。